

講座スケジュール

11月3日(土)

- 10:00～10:10 開講挨拶・趣旨説明
- 10:10～11:10 地域歴史遺産とまちづくり(60分)
- 11:10～11:20 休憩
- 11:20～12:20 地域歴史遺産活用事例の紹介(60分)
- 12:20～13:10 昼休み
- 13:10～13:30 参加者自己紹介
- 13:30～15:30 歴史資料取り扱いの基礎(120分)
- 15:30～15:40 休憩
- 15:40～16:40 地域の歴史の見方 近代(60分)

11月4日(日)

- 10:00～11:00 災害から地域史料を守る(70分)
- 11:10～11:20 休憩
- 11:20～12:20 地域の歴史の見方 古代(60分)
- 12:20～13:20 昼休み
- 13:20～14:20 地域の歴史の見方 中世(60分)
- 14:20～14:30 休憩
- 14:30～15:30 地域の歴史の見方 近世(60分)
- 15:30～16:00 アンケート記入
- 16:00～16:50 意見交換会
- 16:50～17:00 修了書授与・閉講挨拶

----- 切り取り線 -----

まちづくり地域歴史遺産活用講座試行プログラム受講申込用紙

ふりがな				
氏名	性別	男・女	生年月日	年 月 日
住所	〒			
電話	() -	FAX	() -	
e-mail				
所属				

※太枠内は必須項目です。e-mail を記入された方には、e-mail にてご連絡を申し上げます。

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

まちづくり 地域歴史遺産活用講座

定員
20名

応募が定員を超えた場合は
抽選をおこないます

試行プログラム 市民モニター募集

11/3(土)・4(日)

会場 神戸大学文学部

受講料無料

近年各地で、地域歴史遺産を活用したまちづくりの取り組みが、住民自身の手でおこなわれています。この講座は、こうした取り組みに関心を持つ市民のみなさんに向けて、地域の歴史についての考え方や見方を学ぶ機会を提供する試みです。「こういう考え方がある」「こういうこともできる」など、地域の歴史に関心を持ったり、地域づくりなどに役立てていく入口になればと考えています。今回は試行プログラムとして、講座を受講の上、ご意見をいただける市民モニターを募集します。

【応募条件】 2日間の全日程を受講できる方。

【申込方法】

申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みいただくか、または返信用封筒(80円切手貼付、返信先住所記入)を添えて、下記まで郵便でお送りください。また、必要事項をご記入の上、eメールでお申し込みいただいても結構です。

FAX 番号 078-803-5566

eメールアドレス area-c@lit.kobe-u.ac.jp

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

【申込締切】 2012年10月22日(月)まで。

◆お問い合わせ先◆

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

TEL・FAX 078-803-5566

e-mail:area-c@lit.kobe-u.ac.jp

http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/

主催 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

共催 兵庫県教育委員会

後援 兵庫県神戸県民局・神戸市教育委員会・東灘区

地域歴史遺産とまちづくり

講師：奥村 弘 60分

阪神・淡路大震災以来、地域歴史遺産という考え方が強調されるようになってきました。東日本大震災のなかでも地域の記憶を未来に引きつぐ取り組みがおこなわれています。人口の減少や流動化による地域社会の危機のなかで、地域の歴史を伝えていく地域歴史遺産を保全し、歴史文化を次世代に継承し、まちづくりに活かしていく地域の方々の取り組みがはじまっています。そのなかで、市民や自治体、博物館・資料館、大学などはどういう役割を果たすべきなのかを考えます。地域歴史遺産をめぐる総論にあたるものです。

歴史資料取り扱いの基礎

講師：村井良介
前田結城 120分

地域の歴史資料を保存・活用するために、歴史資料の取り扱いの基礎や整理の方法などを学びます。整理や古文書解読の体験もおこないます。

災害から地域史料を守る

講師：吉原大志 70分

災害が起こると、普段は見えにくい地域歴史遺産をめぐる課題が浮かび上がってきます。災害から史料を救出する意義を学び、また、水害により、水に濡れてしまった史料の応急処置方法をワークショップで体験します。

地域歴史遺産活用事例の紹介

講師：坂江 渉 60分

現在、兵庫県内では、地域の歴史遺産を活用したまちづくりが各地でおこなわれています。そのいくつかの事例を紹介して、より具体的なイメージの獲得をめざします。

地域の歴史の見方

ここでは地域の歴史を見ていくときの切り口や視角について学びます。具体的にその地域の歴史を知るといった一般的な歴史講座とは異なり、地域社会はどのような秩序・枠組みで成り立っているのか、それは現代社会にどのようなにつながっているのかを、各時代ごとに考えていきたいと思えます。

近代

講師：河島 真 60分

現代では、私たちが「ふるさと」と考えているものと、「地域社会」として形成されているものとは、必ずしも一致していません。近現代における「地域社会」がどのように形成されてきたのか、またその問題点は何かを、具体的な事例を交えて考えたいと思えます。

古代

講師：坂江 渉 60分

古代の地域社会の成り立ちや、人々の暮らしはどんなものだったのでしょうか。律令制下の文献史料を中心にして、その制度と実態の両面から考えます。

中世

講師：村井良介 60分

中世の地域社会は、村や町、荘園、在地領主の支配など、さまざまな秩序が重層的に影響し合って形作られています。その様相と変遷について考えてみたいと思えます。

近世

講師：木村修二 60分

近代的な都市のイメージの強い神戸市域にも近世という時代が存在しました。中世の名残をとどめつつ展開したこの地域の近世の特色を、史料に則して述べてみたいと思えます。

